

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年 6月 1日(金)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年 6月 1日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 7 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	残留熱除去機器冷却海水系ポンプ(C)主軸において、軸振れ計測値に判定基準値超えが認められたため、当該ポンプ主軸を点検・修理。 なお、現在当該設備点検中のため、系統への影響なし。	GⅢ	
2	2号機	非常用ディーゼル発電設備冷却系残留熱除去系ポンプ(A)電動機冷却水配管フローサイトグラス(ガラス製流量確認窓)において、指針の動きが緩慢であることが認められたため、当該フローサイトグラスを点検・修理。	GⅢ	
3	3号機	タービン建屋天井クレーン(225t)の走行架線点検において、作業用接地線を取外す前に走行用電源を投入し、当該接地線の断線が認められたため、原因調査・対策検討。	GⅢ	2018. 6. 4再審議にてグレード変更対象外→GⅢ
4	4号機	換気空調系廃棄物処理区域給気処理装置フィルターにおいて、フィルターの詰まり(差圧が制限値に到達)が認められたため、当該フィルターを交換。	GⅢ	
5	3・4号廃棄物処理設備	固化系固化材流量検出器入口弁において、動作不良(開固着により閉にならず)が認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	
6	3・4号廃棄物処理設備	固化系固化材流量検出器出口弁において、動作不良(開固着により閉にならず)が認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	
7	補助ボイラー	補助ボイラー蒸気溜め(A)及び(B)ドレントラップ(湿分分離器)排水配管のエルボ一部において、凝縮水の滴下(約2秒に1滴)が認められたため、当該配管を点検・修理。	GⅢ	